

JICA 海外ボランティア事業の概要

参考

《JICAボランティアについて》

独立行政法人国際協力機構（JICA：Japan International Cooperation Agency）が、国際協力事業として昭和40年から実施しているボランティア事業で、開発途上国で様々な活動を行う。

目的・開発途上国の経済・社会の発展、復興への寄与

- ・異文化社会における相互理解の深化と共生
- ・ボランティア経験の社会還元

令和5年1月4日現在

種類	青年海外協力隊 海外協力隊	シニア海外協力隊(※)	日系社会青年海外協力隊 日系社会海外協力隊	日系社会シニア 海外協力隊(※)		
対象年齢	20～45歳 46～69歳	20～69歳	20～45歳 46～69歳	20～69歳		
任期	原則 1～2年					
職種	コンピュータ技術、小学校教員、障害児・者支援、 コミュニティ開発、スポーツ全般など		日系日本語学校教師、文化、野球、家畜飼育、 経営管理、SW、保健師など			
派遣国	アジア・アフリカ・中南米・大洋州・中東		中南米			
参加状況	全国	実績	46,496名 (92か国)	6,605名 (78か国)	1,561名 (9か国)	550名 (10か国)
		派遣中	656名 (55か国)	43名 (24か国)	17名 (4か国)	3名 (2か国)
	福井県	実績	311名 (69か国)	21名 (14か国)	12名 (2か国)	1名 (1か国)
		派遣中	4名 (4か国)	1名 (1か国)	—	—

※「シニア」の海外協力隊は自分の持つ専門的な技術・知識・経験に特化した案件を希望して派遣

《海外ボランティア支援事業（県から県国際交流協会への委託事業）について》

JICAの海外協力隊に参加する福井県出身者等を通して、派遣国の住民のニーズに応えた県民総参加の国際協力を推進するとともに、国際交流・協力を行う人材を育成する。

【事業内容】

- ・ 隊員からの要請に基づき、現地での活動に必要な支援物資等を県民から募集し、隊員へ送付する。
- ・ 隊員は、派遣国住民に協力物資を提供するとともに、福井県を広くPRする。また活動の様子や物資の活用状況、現地住民等の声などをレポートで報告してもらい、県のホームページなどで発信することで県民の国際協力の意識を高める。

・ 令和4年度までの支援物資送付実績

国数：28か国 ボランティア数：41人

物資：縄跳び、調理器具、衣類、百人一首、野球道具、柔道着等

総量：283箱（3,798.7Kg）